

報道機関各位

碓氷峠鉄道施設群の世界遺産登録を目指します

市は、国指定重要文化財である「旧碓氷峠鉄道施設」を基軸とし、碓氷峠鉄道施設群のユネスコ世界遺産登録を目指した研究プロジェクトを来年1月に庁内で組織し、スタートします。

世界遺産登録を目指すにあたり、11月29日に、国内有識者による検討会を実施しました。その結果を踏まえ、12月18日に現地を確認し、有識者6名の連名で世界遺産登録に向け体制を整え取り組むべきであるとの提言書をいただきました。

世界遺産登録に向けて動くことで地域の活性化を図り、安中市の主たる観光地である「碓氷峠」を日本全国や世界に向けて発信していくことが可能になります。今後は有識者会議を年数回開催し、登録に向けた手法の検討をしてまいります。

有識者名簿（敬称略）

氏名	役職	専門分野	備考
萩原 豊彦	NPO 法人碓氷峠歴史文化遺産研究会 理事長	碓氷峠交通史全般	代表
小野田 滋	公益財団法人鉄道総合技術研究所 アドバイザー	鉄道全般	
大島 登志彦	高崎経済大学 名誉教授	交通史、元鉄道史学会会長	
高村 功一	歴史的建造物修復コンサルタント	文化財保存修理 (丸山変電所保存修理技術者)	
長谷川 直司	元国土技術政策総合研究所 シニアフェロー	鉄道構造物全般	
矢野 薫	安中碓氷ユネスコ協会 会長	鉄道遺産群を愛する会 会長	

【問い合わせ】

みりよく創出部観光課

TEL027-382-1111 内線2620